

ミニコチョウランの新品種育成

【特徴】

- ・他産地にはない山梨県オリジナルの新品種である。
- ・単位面積当たりの生産鉢数が多い小鉢生産に適するため高い収益性が見込まれる。

【活用が見込まれる分野】

観賞用鉢花

実用化実績:有
現状:商品化済み

【成果】

- ‘山梨1号’ (登録番号23823)
- ‘山梨2号’ (登録番号23824)
- ‘山梨3号’ (登録番号23825)

権利状態 : 県単独所有
実施許諾実績 : 有
実施許諾 : 可
権利譲渡 : 不可

【育成品種の概要】

品種名	写真	主な特長・栽培上の留意点
‘山梨1号’		<ul style="list-style-type: none"> ・4cm程度の花を約6輪着ける ・花弁は厚くロウ弁質で覆輪が入る ・花色は白地に赤覆輪 ・開花期間が2ヶ月以上と極めて長い ・親株と同様に強い芳香性をもつ ・温度処理による周年出荷は難しい ・開花期は7月下旬～8月下旬
‘山梨2号’		<ul style="list-style-type: none"> ・株は小型で2寸鉢の生産に向く ・2～3cmの花を約20輪着ける ・花色は濃い赤紫 ・フラスコ出しから約8ヶ月で出荷できる ・開花期間が2ヶ月以上と極めて長い ・株が充実すると花茎2本立ち株や花序の枝打ち株が多くなる
‘山梨3号’		<ul style="list-style-type: none"> ・株は小型で2寸鉢の生産に向く ・2～3cmの花を約20輪着ける ・花色は淡い赤紫 ・フラスコ出しから約12ヶ月で出荷できる ・開花期間が2ヶ月以上と極めて長い ・株が充実すると花茎2本立ち株や花序の枝打ち株が多くなる